

世界遺産・国宝 姫路城
冬の特別公開わたりやぐら 特別公開
ぬの門・りの二渡櫓

姫路城の大天守のふもと、備前丸は、かつて姫路城を築城した池田輝政の御殿があったところです。

その備前丸の南に位置する場所に上山里曲輪があります。山里曲輪は、戦闘を目的とせず、庭や茶室を設ける場所と言われています。今回は、上山里曲輪にある、普段は公開していない「ぬの門」と「りの二渡櫓」(一部)の内部をご覧ください。

令和3年(2021年)2月1日(月)~28日(日)

時間／9:00~16:30 (最終入城16:00 閉城17:00)

公開場所／ぬの門、りの二渡櫓

観覧料300円 ※別途姫路城の入城料が必要です

同時公開

大名行列拝観
展示プレオープン

【場所】りの一渡櫓・チの櫓



ぬの門 初公開

三国堀のある曲輪から上山里曲輪へ入る関門である。3階建ての櫓門で、櫓部が2階建てになっている珍しい城門である。建物内部には階段がなく、上下階の行き来ができない。門部は全て鉄板張りで、門部の上に隠し石落としがある。櫓2階の出格子窓も石落としになっている。

りの二渡櫓 初公開

ぬの門の西に接する櫓がりの二渡櫓である。2階建ての建物で、1階の城外側は石垣が築かれ、室内は穴蔵になっている。酒井時代には火薬の原料となる苧殻を貯蔵していた時期がある。城内側の南室は開放され、天守大棟の鯉瓦を展示している。りの二渡櫓の南側にはりの一渡櫓・チの櫓があり、大名行列の衣装や調度品を特別展示しています。



ぬの門・リの一渡櫓 わたりやぐら 特別公開

ぬの門



リの一渡櫓



大名行列拝観

リの一渡櫓・チの櫓

文化庁のLiving History(生きた歴史 体感プログラム)促進事業の一環として、「顕徳院様將軍御名代上京行列図」(姫路市所蔵)を参考に、時代考証を経て制作した衣装や調度品の一部を展示します。



入城記念書(御城印) 販売開始

料金:300円(1枚)

販売所:姫路城売店(姫路城出改札横)

姫路城の特別公開に合わせて、本多家の家紋を配した御城印を販売開始します。本多家の家紋は姫路城の瓦から、葵の御紋は千姫が奉納した羽子板から制作しました。また、姫路城の文字は本多家の廟所がある書寫山圓教寺のご住職に依頼したものです。ぜひ、入城記念にご購入ください。



ぬの門の障子に使用している紙は、姫路市民の手ですいたものです。材料として使用した雁皮(がんび)は、市内にある書写山で採取。現代の名工・表具師梅岡一晴氏の指導の下、高校生の皆さんで張りました。見学の際は、障子にもぜひご注目ください。

姫路城便覧

姫路城の情報をリアルタイムにお届けしています。姫路城への旅行計画にどうぞご活用ください。

ホームページ

<https://www.himejicastle.jp/>



【ご利用案内】観覧料 大人・小人 300円 ※別途下記姫路城入城料が必要です

	区分	個人料金(30人未満)	団体料金(30人以上)	備考
入城料	大人	1,000円	800円	18歳以上の方
	小人	300円	240円	小学生・中学生・高校生

開城時間/9:00~17:00 ※最終入城 16:00

※小学校就学前は、無料です
※18歳で高校生の場合は、小人料金が適用となります
※小学校・中学校・高校の教育旅行については、生徒15人につき引率教師1人は無料となります
※姫路城・好古園共通券 大人/1,050円 小人/360円